



閉会の辞

鶴田靖行 国際交流基金
日本語専門家

モンゴル日本人材開発センターに派遣されております国際交流基金日本語専門家の鶴田と申します。第15回モンゴル日本語教育シンポジウムの閉会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。本日はお忙しい中、多数お集まりいただきましてありがとうございました。まず初めに本シンポジウムにおいて、基調講演およびワークショップを担当して下さった森篤嗣先生、ご多忙の中、日本からモンゴルにお越し下さり有意義な講義を私たちに行ってください誠にありがとうございました。また、勤務校での業務の合間を縫って本シンポジウムの準備にあたって下さったモンゴル日本語教師会の皆様とモンゴル日本人材開発センターの皆様にご挨拶を申し上げます。また、ご後援いただきました在モンゴル日本国大使館とご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて、今回の日本語教育シンポジウムのテーマですが、コミュニケーション能力育成のための語彙指導というものでした。午前中にコーパスに関する講義を受けた後に、午後は実際に皆さんでパソコンを操作してNLBと中納言という二つの日本語コーパスを実際に試してみるという授業になりました。講義だけのセミナーの場合よくあるのが、その時は非常によい勉強になったということで満足して家に帰るんですが、次の日になるといい講義だったなという記憶だけが残って、実際に勉強したことをその後何もしないまま、また次のシンポジウムを迎えるということとはよくあると思うんですが、皆さん今回、実際にNLBと中納言を自分の手で触ってみたということで明日からいつでもこれをまた使おうと思えば使えるスタンバイの状態にもうすでになっていると思いますので、これは講義だけのシンポジウムと違うこれからの皆さんの日本語教育の実践にとって役立つシンポジウムだったと考えています。

また、研究を中心に行っている大学の先生方や大学生に研究指導を行っている先生方にとっては、昼の控室で森先生とお話をしたときに、コーパス研究は文法研究と違って、母語話者と非母語話者の差が生じにくい研究分野であるというお話を聞きました。コーパス研究であれば、非母語話者の皆さんであっても母語話者と同じまたはそれ以上の研究の成果を出せる分野だということで、これは研究者の方々、それからこれから研究者を育てていく方々にとっては非常に大きなアドバイスだったと思います。また、現場で実際に学習者に教えていらっしゃる先生方にとっては、やはり子供たちの言語挫折を防ぐということと、よい例文を作ることが大きな課題になっています。文法の説明等、説明をいかにするかという部分では非常に上手にできる先生が多いと思うんですが、それを具体的によい例文を使って説明ができるかというところが結構皆さん悩まれると思います。また現在中等教育の先生方はできるモンという教科書の改訂を行っているということを聞いています。その先生方にとっても例文を見直したり、どの語彙を使っていくかを見直す際に今日勉強したことが大変役に立つのではないかと考えています。

今回シンポジウムが久しぶりに対面で開催されたという意味もありますし、さらに講義と実践と両方経験できた非常に有意義なシンポジウムになったのではないかと考えています。最後になりますが、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしますとともに本日のシンポジウムにご参加いただきましたことを改めて御礼申し上げます、閉会のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。